

あ・うん

金剛禅総本山少林寺広報誌

vol.
53

2017 文月・葉月

特集
理想境づくりへの架け橋・道院



理想境づくりへの架け橋・道院

道院長と拳士・地域をつなぐ架け橋ともいえる「道院」。
今号では現在活発に運営されている道院への実際の取材に基づいて、理想境実現にむかうための布教と教化育成の工夫を紹介する。

担当／宗務部

★元氣の出る道院ガイド

■道院の基本スタンス

☆教えの実践道場としている（「少林寺拳法の道場」という触れ込みをしていない）。①
☆開放的で、誰でも受け入れる。



道院長コメント

①「地域の方々は、道院が“少林寺拳法をする場所”ということとは十分ご存じです。そんな方に『少林寺拳法の技は……!』とPRしてもあまり効果はありません。逆を言えば、“技以外”に道院で何が学べるか、について期待をされていて、金剛禅の“宗教なのに分かりやすい教え”が、今の方には大層受けがいいように思います」

■布教・広報活動編

☆いつも誰かに少林寺拳法のことを説明している（名刺は毎日誰かに配っている）。

☆「自信を持って」「正しく」伝えることを心がけている（道院における修練が宗教活動であることを明確、かつ理論的に説明できる）。

☆道院ホームページを運営し、定期的に更新している。

☆ホームページの内容が分かりやすく、明るいデザインである。②

☆毎月「道院だより」を作成し、近隣に配布している。各種施設、飲食店等には束で置いてもらっている。

☆地域広報誌・ミニコミ誌などに「体験者募集」を掲載している。

☆「入門者募集」ではなく、「見学・体験者募集」で触れ込みしている。

☆世代や性別など、対象を絞って募集している。③

☆拳士の素行が良いため、親戚や学校、近所内で評判が高く、紹介での入門が多い。④

道院長コメント

②「私の道院は自宅の一室、しかも玄関に入って地下に降りる専有道場なので、見学のハードルが高いんです。一度入ったら逃げられないんじゃないかって（笑）。そのため、一般の方が事前調査すると言えばインターネットですから、とにかく明るくライトな印象が持てるHPを作成しました。女性や少年部の笑顔の写真を多く掲載し、道院長の顔写真と経歴も明記して、安心感を持ってもらえるよう心がけました」

道院長コメント

③「対象を明確にする方が、訴える力が強いみたいです。“30～40代の女性の方!”とした方が、当該年齢の女性は興味を持つでしょう。対象は月ごとに変えています。新年度を迎える2月は“ピカピカの1年生募集”、新生活の落ち着く5月は“ピカピカの社会人募集”のように、掲載時期も大切です。そのせいか、大学少林寺拳法部の経験者が3人入門してくれました」

道院長コメント

④「1人が入ると7～8人連れてやってくるようになります。怖いのは、1人が辞めるとその7～8人も辞めていくことです。そのためにもせっかくの評判を落とさないよう、肝に銘じています」



道院長コメント

⑤「分かりやすさがいちばんです。ご近所さんも何をされているのか安心されますし、地域の防犯にも役立っているようです」

道院長コメント

⑥「地域貢献と布教の両面の効果があります。駅の周りを拳士がずらっと囲むと壮観です(笑)。同じ認知でも、信頼の付加価値がついてきます」



■布教・地域活動編

☆玄関だけでなく、往来から確認できる立て看板や横断幕を設置している。⑤

☆体験・護身術教室を、あちこちで定期的に開催している。

☆社会貢献活動を積極的に行っている。道院活動の一環としてほぼ習慣化させており、車いす点検や街頭募金などを定期的に行っている。⑥

☆市や地元ボランティア協会に道院として加盟している。コラボレーションの機会も多く、他団体への認知のほか、拳士自身の勉強にもなっている。

☆修練に来る拳士たちが、近所の方とすれ違うたびに大きな声であいさつをしている。

道院長コメント

⑦夜の住宅街から煌々と光る道場の灯り。犬の散歩をされたり家路につかれる方々が足を止めて修練を見学されていた。

「気合の声ですか？ 最初は心配しましたが、今では“街に活気が生まれた”とか、“防犯に役立っている”との声をいただいています」



■布教・専有道場の活用編

☆道院設立時はお披露目も兼ねて演武会を開いた。毎年地域の方を招待しており、今では地域のお楽しみ行事のひとつになっている。

☆活動時はいつも玄関、窓を開放している。⑦

☆修練日以外に自治会や他団体の会合、地元アーティストのライブ会場などに使ってもらっている。

道院長コメント

⑨「昇格は修行の一里塚として大切なタイミングです。受験の前に自分がどう変わったか、お子さんがどう変わったかを整理してもらいます。成長度合いを実感してもらうことで、道院への信頼が増すようです」

道院長コメント

⑧「信徒会費も信徒香資もいただかないまま、5カ月体験された方もおられます(笑)。納得されるまで気長に待ちますし、入門を強要することはありません」

道院長コメント

⑩「大きなイベントでなくてよいのです。絵本の読み聞かせとか、大掃除とか。変化を付けることでマナーを防ぐとともに、幹部に担当の役を与えることで責任感も持ってくれます」

■教化育成・拳士への指導編

☆本気で接する。

☆昇格考試受験時に感想シートを書いてもらっている。⑨

☆修練時、一回は必ず拳士の名前を呼び、目を合わせるよう心がけている。

☆月に一度は何かイベントを行い、メリハリをつけている。⑩

☆出費が重なる時期(新年度など)には、負担にならない方法を提案している。

☆「稽古參觀日」を設けている。終わったあとは懇談会も実施し、保護者とのコミュニケーションを欠かさない。

■教化育成…幹部の育成編

☆リーダーとして扱い、引き立てることを心がけている(幹部はアシスタントではない)。

☆積極的に対話し、相談に乗る。⑪

☆心から頼りにし、かつ謝意を言葉にしている。

☆次期指導者として接し、講習会受講や武専コース

入学などには助成もしている。

☆後継者としては特に意識していない。やりたいと言ってくれば応援するスタンス。

■道院長の人柄

☆発想がポジティブで切り替え上手。そして社交的。

☆具体的な夢を持っており、実現のためのストーリー

ボードができています。⑫

☆1年後、5年後、10年後の道院のビジョンが明確である。



道院長コメント

⑫「道院をもっと活気付けたいので、女性に入ってもらいたいですよ。だからといって、ただチラシに“女性募集”と書いてもダメだと思うんです。女性を迎えるならシャワーがあるなど。あとトイレも外の仮設なので、シャワートイレにしないとダメ。パウダールームもあれば喜ばれますよね。そしたら道場のこの部分を削って壁を作つて。そしたら予算はいくらで、いくらまでなら交付金で賄えて、そのためには……と真剣に考えるんです」

「あと、高齢者にも入ってもらいたい。なのでここにカウンターを作つてね。修練後、コーヒーを飲んでもらうんです。いいでしょ？ あ、幹部拳士に健康プログラムのMC資格も取ってもらおう(笑)」

道院長コメント

⑪「修練が終わっても帰らないんですよ。そんな時は家内が夜食を準備したり(笑)。技の確認から進路、転職のことまで内容はさまざまです。カウンセリングとまでは言いませんが、彼らにとって、もう一人の父親のつもりで接しています」

今回お伺いした道院

東京西品川道院(東京都)



かいぬまみのる
海沼実 道院長

「家族7人からの出発。誰も来ない自宅の道場で不安がる息子に、人が集まるには時間がかかるんだよと、自分にも言い聞かせるように説明していました。宗道臣塾で得た学びが、いま大変役立っています。道院長が本気でいる限り、人はついてきてくれます」

刈谷南道院(愛知県)



こめだ まさひろ
米田正寛 道院長

「設立から5年、そろそろ自分の道場を持ちたいと思っていたころ、ちょうど機構改革の時期と重なり、修練可能な専有道場所有に踏み切りました。地域の活性化に一役買いたい、町内から信頼され、愛され続けたいの一心で今があります」

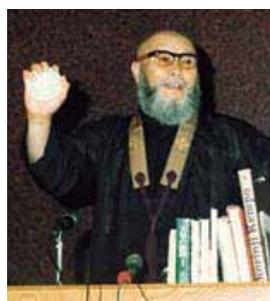
★取材を終えて

大きな倉庫を改装した道場と、自宅の一室の道場。それぞれ異なるタイプの道院を訪問しましたが、道院長両名の思いは驚くほど重なるものでした。特に印象的だったのが、語られる夢すべてが具体的であること。両取材をとおして、開祖が理屈でなく体験として感じとられた「自分がそうしたい」と思っているように努力すれば、必ず結果はそうなる」という言葉を思い出しました。



開祖語録 ダイジェスト

1971年8月
指導者講習会



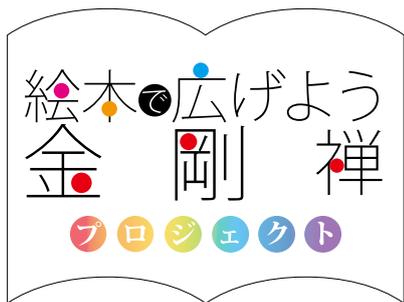
※この開祖語録中の「少林寺」は、金剛禅総本山少林寺を意味しています。

ダーマの分霊を持った素晴らしい人間であるという、これ君たちは笑うけどな、これが本当の人種平等、人間平等の思想に繋がる根拠なんだよ。様々な人種でも、金剛禅運動、ダーマという言葉にパチッと食いついているんだ。神の僕ではない、われわれは神の現れである。ただし人間の持つ業が魂魄の魄という形で表れているから、やっぱり悪いやつは悪い。だからいいことしようじゃないかというところへいま発展しつつある。金剛禅運動が一つの思想運動として、宗教運動として形づけられようとしている。

私が死んだあとの諸君の叡智でもってこの金剛禅運動の理論付けをして欲しいんだ。そしてこういう思想をもって本当の世界平和というものに踏み出したい。私みたいな下らない男が中国大陸で潜っておるときにでも、考え方の中に半ばは相手の幸せを願ったから、終戦後、私は戦犯にならなんだ。国民が許してく

「金剛禅の僧です」を誇りに出来る人間をつくりたい

れた、優遇してくれた、私を。人情に国境はない。どこへ持っていっても私たちの考え方は通じるのです。人民外交をやるうじゃないか。いまカトリックの盛んな国でね、合掌して、ダーマが言える連中が増えつつある。金剛禅運動が増えるということはない。ただ彼らを納得させるような人格者が少林寺から育つことが前提である。なんぼ思想がよくても、それを体現するやつが悪かったらだめなのだよ。ここに、一番最初の日に言うた君たちの、服装、態度、ものの言い方、考え方を、私は強く改めてもらいたいということが分かってもらえらるうと思う。私たちはリーダーなのである。金剛禅なんだ。「私は金剛禅の指導者です」と言うて胸を張れるような人間にならうではないか。「私は金剛禅総本山少林寺の僧籍にある者、僧侶です、金剛禅の僧です」、こう言えるものを私は誇りに出来るような人間をつくりたい。どうだい。



東大阪孔舎衛道院
道院長 樋口 和宏

心を育て、心が繋がる 「絵本の読み聞かせ」

私が椅子を出してくると、拳士達が嬉しそうに集まってくる。それは絵本の読み聞かせが始まる合図だからだ。絵本の読み聞かせを始めて一年。「プアー」って言うだけの絵本から、深く考えさせられる絵本までたくさん読みました。今回の絵本「いのちのはな」は、どんな状況でも諦めない心、生きている事の素晴らしさが描かれていて、最後には皆が笑顔になれる絵本です。

毎回驚かされるのは、絵本への集中力。絵本を見つめる拳士の爛々と輝く目を見るのが私は大好きです。読み聞かせは上手い下手ではなく、気持ちが大切だと思います。恥ずかしさもぎこちなさもその人の味になります。今でも読むスピードや抑揚など、どうすれば伝わるのか試行錯誤の連続ですが、そこが魅力であり、読み手の修行になります。絵本を通じて同じ世界を体験する事で、心が繋がっていく感じがしました。

私はこれからも絵本の読み聞かせを続け、絵本の様に笑顔になれる道院にしていきたいと思います。

今回読んだ絵本

◎いのちのはな

作：のぶみ



お母さんからチューリップの球根をもらったかんとろうは、次の日から病気に。水がもらえないチューリップの「プー」は花を咲かせることができるのか。

開祖の志を理解する三本柱

約四十年前、私は全日本学生少林寺拳法連盟委員長という役目から、大学生の研修制度を開祖にお願いしました。大学本部合宿のときに毎週数名の大学生を研修生として受け入れてもらうというものでした。一日中、本山の先生方に指導を受けられるという希望を持って集まった大学幹部は、当時山門衆と呼ばれた先生方といっしょに、山の草刈りや庭の手入れ、ペンキ塗りなどの、いわゆる作務が一日のほとんどという現実に愕然としたものです。

しかし、そのような中であって、月、水、金の夜に全国から駆けつけられた指導員の先生方から研修生だけを対象にした技術や講義をしてくださった時間は私たちの宝になっています(火、木、土の夜は本部道院で修練)。中でも、鈴木義孝元金剛禅総本山少林寺代表(現SHORINJI KEMPO UNITY 顧問)の講義は私にとっても、とても新鮮かつ貴重で今でも当時のノートを度々開きます。

金剛禅は、開祖という人格と、その思想から生まれた宗教ですが、金剛禅の教えの根底には「釈尊の正しい教え」が流れています。し

かし、金剛禅は釈尊の教えを基盤とするものではありませんが、釈尊の教えとイコールではありません。金剛禅の教えは釈尊の正しい教えを基盤におきながらも、何といっても開祖という人格と思想に裏付けられています。ですから、その本質を理解するには、開祖の体験と行動を知らなければなりません。そこで鈴木元代表が開祖という人間をより深く理解するために必要なものとして示されたのが、次の三本柱でした。

一．原始仏教

二．昭和史

三．武道スポーツ論

まず、私たちが少林寺拳法の特徴としていつも説明に使う「自己確立」や「自他共楽」なども「釈尊の正しい教え」を基盤としたものです。私たちは金剛禅の思想の基盤となる「釈尊の正しい教え」を正しく理解し、開祖が何を正しいとして継承し、何をそうではないとして否定されたのか。そのためにはまず、釈尊生存中とその後の約百年間、仏教教団が分裂するまでの原始仏教について正しく知らなければなりません。

次に、少林寺拳法開創の動機と目的は何といても満州で敗戦を迎え、その後の一年間をソ連軍政下におかれた開祖の体験にありま

すから、満州国の成立から滅亡までを知り、さらには、開祖の生い立ちから、十四歳で満州に渡り開祖が生き抜いた昭和初期という怒涛の時代を振り返らなければなりません。開祖がどのような時代を生き、どのような経験をしたかを知らなければ、金剛禅の教えは理解できないのです。ここに昭和史の必要性があります。さらには、単なる武道やスポーツではないと言えらば、では武道とは何か、スポーツとは何かを問わなければなりません。少林寺拳法という身体運動を行としている以上、その身体運動が身心にどのような影響、効果を与えるか。養行であり、健康増進、精神修養に役立つのなら、どのような修練方法が身心に健康増進としての効果があるのか。反対にどのような修練方法であると身体に悪影響をおよぼすのかも知らなければなりません。私たちはこの三本柱についての理解を深める事を通して、「人間」を探求しなければならぬのです。

わたしの 工夫

第2回

道院運営へのヒント……
もって道院の活性化、拳士の
育成につなげていこうという
コラムです。

今回の工夫を
教えてくれたのは……



福島桑折道院
齋野光樹道院長

工夫① 教典の日々の音読 ～感性を磨く一つとして～

私は道院の修練日以外にも、毎日繰り返し「教典」を声に出して読んでいます。そのきっかけは東日本大震災という大きな転換期と、震災後、道院運営の基本方針を立て直すために受講した「宗道臣塾」でした。

「教典」は黙って読んではいけません。また、サラッと読み流してもいけない。必ず声に出して、一語一句丁寧に読みます。そうすると、どこ



かで引っかかってくる言葉が出てきます。「須臾も離るべからず……、ああ、そうだな」と思います。自分が何をしたらいいのか、どう生きたらいいのか、心の定まっていないところが定まってくるのです。「教典」を繰り返し読んでいくと、気づきの内容がだんだんと深まっていくことを実感します。それはあたかも、「自分で自分を薫習する」という感覚です。

道院で皆で唱和すること以外に、自分一人の時間に「教典」を音読することを続けてみる。決して物珍しいことではないかもしれませんが、取り組んでみて実感する、体の内側からの気づき。その気づきが、「道院で今度、こんな工夫をしてみよう」と、新たな発想にもつながっているのだと思います。

工夫② 一人ひとりが主役になれる機会を作る

運営面では、年代、世代に応じて、拳士一人ひとりが主役になれる機会を努めて作るようにしています。一般拳士には、鎮魂行の主座や打棒からはじまり、基本演練の指導、法形演練の指導、月一回発行の道院通信のメッセージ作成……等々。また、少年拳士には、皆の前での発表や号令役……等々。その時私は、物事が円滑に進むよう全体に目配せをしています。拳士にいろいろな役を経験してもらい、そこで感じたものを、人生に活かしてもらいたい。そんな想いがあります。

また、儀式行事も頻繁に開催し、人が集まる機会を多く作っています。儀式行事には、保護者や町の議員さんも来られ、拳士たちと一緒に楽しめます。そのような時間は、決してモノでは満たすことのできな

い、かけがえのないひとときで、仲間意識を深めていくことが実感できます。

そんなせいも、進学、就職等で福島を離れた子が、帰省すると必ず連絡を取り合い、皆で再開しよう、と呼び掛けてくれるのです。「道院はふるさと」——そんな道院づくりを目指しています。



道院長

vol.37

元気^の素



大阪三日市道院
道院長 古谷 貴紀(45歳)

日々、感動の毎日

「修行は継続してなんぼや(河内弁)修行は継続してこそ意義がある」と常日頃から拳士に伝えていきます。そして、修行を継続するためには、良き仲間とみんなが明るく元気に集える居心地の良い道場が必要です。それぞれの拳士にとって大切な居場所となるような道院でありたいと願っています。



大阪三日市道院は、男女問わず拳士同士の仲が良く、中学生達は、学校のクラブ活動終了後、同じクラブの拳士全員が一緒に道場まで直行します。

また、専有道場を確保してからは、修練後に楽しく井戸端談義に花を咲かせることもしばしば。学校

のことや進路、友人関係など色々を話してくれるのが、私にとっても楽しく有意義な時間となっています。

道院長冥利に尽きると感じることは山ほどありますし、道院長でない経験できないことも山ほどあります。地元小学校の卒業式では、各拳士の成長ぶりに感無量となります。他にも小・中学校の運動会では、全学年の拳士を休む暇なく応援できるという特典まで付いています。

道院長になって初めて気づくことや学ぶことも多く、困難にも何度か直面しましたが、思わぬ形であっけなく解決したり、周りの人が助けてくれたり、不思議とうまく回るものです。まさに「この道を得れば、以て進むべく」です。正しい道を進んでいけば、自ずとうまくいくと信じています。

道院は大事な居場所

左記は、高校生の女性拳士の新春法会における門信徒代表挨拶の一部です。

「努力することが嫌いで、根気のなかった私が、少林寺拳法の修行を永続していることに自分でも驚いています。私が永続できている最大の理由は、親身に指導してくださる道院長をはじめ、一緒に修行をしてくれる仲間や、かわいいうち先輩拳士など、多くの人々と触れ合い、そして見守られているということを実感できる環境にあるからだだと思います。道場には、時には叱り、時にはほめ、そして慰め、応援し勇気づけてくれる先生や仲間がいます。大阪三日市道院は、楽しく安心して素直な自分でいられる私の大事な居場所です。指導してくださる先生方に



感謝し、道院の一員であることを誇りに思います。昨今も、残忍な事件や、多くの自殺や引きこもり等が社会問題となっています。道院のように温かく見守ってくれる自分の居場所があれば、このような問題も改善されると思います。後輩拳士達にも、少林寺拳法を、そして自分の道院を好きになってもらいたい、自分の大事な居場所としてもらえるよう努めたいと思います」

この門信徒挨拶を聞いている時、涙をこらえるのに大変でした。こんな風に思ってくれているのだと、道院長としてこれ以上嬉しいことはありません。

※プロフィールなど、金剛禅オフィシャルサイトの全文もぜひご覧ください。

本山

開催報告

〔5月28日〕九州地方教区(久保田利幸)

※創始70周年記念として、九州

地方の全教区合同で開催

※特別講師として、宗田貴少林

寺拳法グループ総裁・大澤

隆代表・鈴木義孝元代表

●教区研修会

〔4月9日〕三重県教区

〔4月16日〕徳島県教区

〔4月30日〕和歌山県教区

〔5月27日〕東京都教区

〔6月11日〕大阪府教区、三重県

教区

●小教区研修会

〔3月12日〕山梨小教区

〔4月9日〕山梨小教区、大阪高

槻・茨木小教区

〔4月16日〕岩手県南小教区、岩

手盛岡小教区

〔4月23日〕東京第十五小教区

〔5月7日〕兵庫宝塚小教区、兵

庫丹有小教区、埼玉第十小教区、

〔5月14日〕和歌山海南小教区、

中紀小教区、東京第七小教区

〔5月21日〕愛知西三河第二小教

区

〔5月26日〕宮城塩竈小教区

〔5月27日〕愛知東三河第一小教

区、愛知東三河第二小教区

〔5月28日〕埼玉第五小教区

〔6月3日〕東京第十七小教区

〔6月4日〕神奈川西湘第一小教

区

〔6月7日〕山形庄内小教区

〔6月23日〕宮城塩竈小教区

川西中部道院

設立30周年記念行事

去る4月29日、川西中部道院

設立30周年記念祝賀会を開催し

ました。昨秋より30周年企画を

立上げ、記念誌・DVD・記念

品の制作、記念行事開催、本山

への寄付を進めてきました。

記念行事は、現役と成人まで

のOB・OG拳士との「記念パ



ティー」、成人以上OB・OG拳士

との「同窓会・懇親会」、親交の

ある近隣所属長との「記念祝賀

会を開催しました。

この取組みをきっかけに、現

役、OB・OG拳士・道院長・仲間

との絆が更に深まりました。

多くの仲間の支援に感謝し、

組織のためという帰属意識を

忘れず、これからも精進してい

きます。(丸野俊二)

本山

開祖忌法要

5月14日(日)、本山にて開祖

忌法要を執り行った。

合わせて、帰山行事も行われ、

開祖忌法要後、帰山者は資格別



に分かれて修練を楽しんだ。

また、この機会に、九段・

大範士・八段の允可状授与式

ならびに、創始70周年を記念

しての感謝状贈呈式が執り行

われた。(宗務部)

●感謝状対象者

鈴木義孝様、牧野清様

山崎博通様、新井庸弘様

浦田武尚様、大西要様

堤清彰様、後藤和雄様

久保博様、加藤義秋様

今井明雄様、小池孝忠様

矢島隆禪様、大野木憲三様

藤本義政様

※允可状対象者については、10

ページをご覧ください。



本山

5月度帰山行事

【帰山道院】

千葉野田道院(道院長・森久

雄)、我孫子道院(道院長・藤田

竜太)、市川若宮道院(道院長・

古谷進)、千葉土気道院(道院

長・富野博樹)、流山道院(道院

長・國吉衛)、千葉弁天道院(道

院長・小倉潔)、野田川間道院

(道院長・古嶋誠賢)、千葉茂原

道院(道院長・尾崎安展)、銚子

道院(道院長・鈴木敏道)

※以上、千葉県教区合同帰山と

して。

東京西品川道院(道院長・海沼

実)、米子西道院(道院長・山田

弘次)



2017年1～5月度 認証

●新設

太田西道院	上西 貴博
葛飾西道院	中林 純一
秦野上道院	諸星 文一
大阪今里道院	西 慶隆

●道院長交代

東松山道院	澤田 一彦
東京深川道院	松熊 俊和
浅草蔵前道院	松島 義治
小千谷中部道院	丸山 貴行
福岡筑紫ヶ丘道院	中村 文夫

九段特別昇格者

2017年5月14日付



加藤 義秋
(綾南道院)



山崎 博通
(本部道院)



大西 要
(観音寺総合高校)



新井 庸弘
(本部道院)



本田 演昭
(壬生川道院)



浦田 武尚
(三崎道院)

法階昇格者

大範士

2017年5月14日付

岡田 孝(玉島北スポーツ少年団)

山崎 武史(夜須道院)

僧階昇任者

権大導師

2017年4月1日付

田中 猛(山陽網干道院)

中導師

2017年4月1日付

不破 健富(東京桜台道院)

高橋 宗造(静岡登呂道院)

伊藤 龍美(尾張瀬戸道院)

甲斐田 宗志(熱田道院)

服部 哲也(愛知師勝道院)

西山 弘幸(宇治道院)

神保 隆志(泉州尾崎道院)

権中導師

2017年4月1日付

細野 子成(盛岡中部道院)

木村 愛美(盛岡中部道院)

森部 正昭(山形中部道院)

柳岡 文隆(群馬前橋道院)

山口 博之(埼玉行田道院)

安藤 貴子(我孫子道院)

松原 央欣(東京飛鳥道院)

木全 英貴(東京飛鳥道院)

生田目 憲一(町田南道院)

鈴木 宗久(箱根仙石原道院)

大澤 幸喜(白山加賀野道院)

松沢 智史(遠江西道院)

楠野 一(浜松西道院)

三田 良忠(名古屋平手道院)

竹野 智一(名古屋丸池道院)

上岡 史幸(大阪白鷺道院)

岡島 善人(東吉野道院)

浦田 和弥(東吉野道院)

岩城 潤也(東吉野道院)

大場 利文(高松木太道院)

三谷 林(高松木太道院)

お布施

開祖忌法要

▷綾南道院 加藤 義秋	50,000円
▷後藤 昭一(名誉本山委員)	10,000円
▷奈良中央道院 今城 隆廣	10,000円
▷京都西道院 高野 實	10,000円
▷北条東武道院 大石 哲也	10,000円
▷大野木 憲三	10,000円
▷明石道院 今井 明雄	5,000円

物故指導者顕彰法要

▷仙台中央道院 阿部 二三男	50,000円
▷蔵本 朝子	20,000円

▷山上 万智子	10,000円
▷石川大聖寺道院 大家 国人	10,000円
▷石川大聖寺道院 大家 元美	10,000円

本山帰山記念

▷千葉県教区有志一同 20,000円

布施

▷豊田末野原道院 服部 俊美	10,000円
▷香川県中小企業家同友会 中讃第二支部	10,000円

公認講習会

▷山口県教区 30,000円

訃報

立岩 正喜 元高砂道院 元道院長、215期生、権大導師大拳士六段、2017年3月22日逝去、満80歳

山本 敏昭 多摩ニュータウン道院(現多摩聖ヶ丘道院) 元道院長、227期生、少導師正範士七段、2017年4月13日逝去、満80歳

高橋 法昇 名法道院 元道院長、47期生、大導師正範士八段、2017年5月1日逝去、満80歳

藤井 教戒 東京洗足池道院 道院長、313期生、大導師正範士七段、2017年5月3日逝去、満60歳

Ryu Ka Ken, Idori Okuri Gote



宗門の行としての少林寺拳法

りゅう かけん い どりおくり ご て
龍華拳 居捕送小手

正座時に手首を握られそうになった場合、まずは膝を開いて体を安定させたのち、片膝を立て、^{かぎて}鉤手守法をとること。送小手は若干後方へ引き込むように掛け手を行い、それから大きく肩を送ると無理なく掛けられる。立位の者が座位の者の手を捕った時点ですでに立位の者の体勢は前屈みとなり崩れているのだから、一見の立場の不利に惑わされず、冷静に対処することが肝要である。

撮影／加々見一 文／永安正樹 演武者／守者：富田雅志 大拳士五段 攻者：倉本巨康 准範士六段



SHORINJIKEMPO
少林寺拳法